

第1回教育委員会（臨時）議事録

1. 開 会
令和2年4月6日（月） 午後7時00分
2. 場 所
市役所第2庁舎3階 2-301・302会議室
3. 会議に出席した委員
教育長 前川 修哉
委 員 酒井 克典
委 員 中村 貴子
委 員 垣内 敬造
委 員 井上 友香
4. 会議に出席した職員
部 長 稲山 悟
次長兼教育研究所長 酒井 宏
教育総務課長 中野 悟
学 事 課 長 森本 康幸
学校教育課長 尾松 直樹
東部学校給食センター所長 酒井 直隆
西部学校給食センター所長 石田 哲也
社会教育課長 小林 康弘
文化財課長 村上 由樹
こども未来課長 中筋 有香
教育総務課係長 田中 真紀子
教育総務課主事 河野 元秀
5. 議事日程及び議案
別紙の通り
6. 開会宣言
午後7時00分
7. 会 期
（自）令和2年4月6日
（至）令和2年4月6日 1日間
8. 会議録署名委員名簿
中村 委員
9. 閉 会
午後 7時55分

前川教育長	<p>日程第 1、会議録署名委員は 2 番中村委員とする。</p> <p>日程第 2、会期は令和 2 年 4 月 6 日、本日 1 日間とする。</p> <p>日程第 3、報告事項に移る。報告 1 の「新型コロナウイルスの感染拡大防止にかかる方針について」教育部長、教育次長説明を求める。</p>
稲山部長	《議案書に基づき説明》
酒井次長兼教育研究所長	《議案書に基づき説明》
小林課長	<p>社会教育面からの報告をする。市民等による学校関係施設の利用については、感染拡大リスク等の様々な面から考え利用中止を検討している。なお、4 月 8 日に開催される市の「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」での決定を予定している。</p> <p>これまで、学校関係施設の利用については、市の「新型コロナウイルス感染症対策警戒本部会議」の決定に基づき、2 月 29 日から使用の自粛依頼をしている。今後は、「緊急事態宣言」の発令が予想されること、学校現場からの申し出等により協議を行い、利用中止の方向性に至った。</p>
前川教育長	<p>県立高校は学区ごとの対応で、神戸、淡路、阪神、丹波が同じ対応となる。そのため、丹波篠山市では感染者が発生していないが、阪神地域と同じ対応であるので保護者が不安を抱いている状況である。この事態をどのように捉えるのか、教育委員みなさまの意見を聞きたい。</p>
酒井委員	<p>近日中に国が「緊急事態宣言」を発令する予定である。それに応じて国の動きと合わせた対応が必要であると思う。国の方向性に応じた対応が必要となるが、各自治体で対応が迫られる事案もあると思う。国に従うところ、市独自で判断するところ、それぞれの状況に応じて対応してほしい。これまでに生じた困ったこと、改善が必要なことをしっかり解決できるようにしてほしい。丹波篠山市には感染者が出ていないが、阪神地域への通勤、通学者もいるので、保菌者がいるという想定で対応にあたってほしい。</p>
垣内委員	<p>阪神地域と丹波地域は少し状況が違うように感じるが、市民が危機感を持って過ごしてくれることに繋がると思う。丹波篠山市での感染ピークをできるだけ遅らすことが重要であると考えてるので、国の動きに合わせて慎重な対応が必要であると思う。</p>
酒井委員	<p>学童保育については、保護者からも不安であるとの声を聞くので、これまでと異なる対応が必要になると思う。</p>
井上委員	<p>学童保育では、受け入れ人数の増加により、「3 密」を回避できる施設のキャパシティにも限界がきており、さらに職員も疲弊が見られる。</p>
前川教育長	<p>丹波地域としての方向性を合わせるために、丹波市の教育長へ連絡をした。丹波市では始業式、入学式を通常通りに実施する予定しているとのことであ</p>

	<p>った。また、県の発表に合わせて来週を休校措置とすることを考えているとのことであった。しかし、この案も「緊急事態宣言」の発令で大きく変更になることが予想されると会話した。</p> <p>休校措置となった場合でも、卒業式同様に入学式、入園式については、規模の縮小等をしながら、実施することが良いと考えるが各委員の意見を聞きたい。</p> <p>入学式、入園式は実施したら良いと思うが、内容は精査すべきである。地域住民や保護者、出席者が安心できる実施場所や実施時間を検討してほしい。式は特別なものであると考えるので、子どものことを第一に考えた式にしてほしい。</p>
酒井委員	<p>学校再開の有無について、署名活動が起こっているとのインターネットニュースを見た。丹波篠山市として、保護者や生徒、学校現場に混乱を招かない対応をとりたい。</p> <p>現時点では、今週については学校を開く予定である。ただ、国、県の動きに合わせて、早急に対応できるよう努めたい。</p>
前川教育長	<p>今後、長期間に渡って休校措置がとられることが予想される。働く保護者にとっては、子どもの昼食を用意することも難しさがある。給食だけ食へに行くことなどは難しいと思うが、働く保護者への支援も考えてほしい。</p> <p>また、休校措置によって、学力の低下が予想される。学力保証もできる範囲で検討して、できる対応策を市民に対して情報発信してほしい。</p>
酒井委員	<p>学校現場でも課題や不安を感じ、対策を考えてくれている。明日、大きな局面を迎えることが考えられるので、これを乗り越えられるよう事務局として対応していきたい。</p>
前川教育長	<p>休校措置を取ることを前提で学童保育の対応も検討してほしい。良案は提案できないが、学童保育が緊迫している状況も保護者に理解してもらい、できるだけ家庭で児童を見守ってもらう方向で理解いただけるようにしてほしい。</p>
垣内委員	<p>学童保育については、教職員の協力も必要になってくると思う。教職員の服務変更が必要になると思うが、できる限りで連携していかなければ、学童保育も限界を迎えていると考える。終息が見えないので、全ての関連する職員が疲弊しないように連携して対応にあたってほしい。</p>
酒井委員	<p>学校の再開について、学年によって異なる登校日の設定をすることはどうだろうか。そうすれば、全学年が一堂に集まることなく、濃厚接触が減り、さらに学童保育を利用する児童も少なくなり感染拡大対策となるのではないか。</p>
井上委員	<p>井上委員と同意見である。学年で登校時間や登校日をずらすことで、濃厚接触が控えることができるのではないか。</p>
中村委員	<p>基本は県立高校に倣って、週に数回の登校日を設けて対応する予定である。小学校では集団登校等の絡みがあるので、事務局で整理して対応したい。</p>
前川教育長	<p>資料に「子どもは地域において感染拡大の役割を果たしていない」と記載</p>
垣内委員	

<p>村上課長</p>	<p>があるように、学校では懸念しているほど感染拡大のリスクがないように思う。より感染拡大のリスクがあるのは、歴史美術館や青山歴史村などの不特定多数の大人が集まる施設であると思う。今後の施設運営の方向性を教えてほしい。</p> <p>歴史4館の現況について、3月の来観者数はまだ未集計であるが、2月は来場者が増加している。団体客は減っているものの、個人客が増えている状況である。</p> <p>シアター室等の「3密」が考えられる施設については、入場制限等を設けて、できる限り人が接触する状況を避ける工夫をしている。</p> <p>スタッフは、マスク等を着用いただいているが、市外からの来場者が多いので心配という意見は聞いている。ただ、現時点では市の「新型コロナウイルス感染症対策警戒本部会議」の方向性に基づき開館している状況である。</p>
<p>垣内委員</p>	<p>感染未確認地域であるという安心感を持つのではなく、感染リスクを減らすことを念頭に対応してほしい。</p>
<p>前川教育長</p>	<p>それでは、第1回臨時教育委員会をこれで終了する。</p>